

<b>奈良市</b>  <b>手をつなぐ親の会だより</b>	NO 352	平成29年6月16日(金)	
	発行 奈良市手をつなぐ親の会 会長 小西 英玄		
	所在地 〒631-0801 奈良市左京5-3-1 奈良市総合福祉センター内		
	Tel0742-71-0770	<a href="http://naraoyanokai.info/">http://naraoyanokai.info/</a>	

ありがとうございました。

平成29年総会、平成28・29年度研修会無事終わりました。



▼平成29年総会

音響設備や照明などがリニューアルされた総合福祉センター集会室で、約40名の来賓の皆様をお迎えして、平成29年 奈良市手をつなぐ親の会総会を無事終えることができました。

▼平成28・29年度研修会

6月9日「親として障がいをもつ我が子に残せること ～私たちの子どもを託せる幸せづくり～」をテーマに研修会を開催しました。(研修会の内容については次号で報告させていただきます。)

峯田弁護士から「意思決定支援」の考え方や、障害者支援において制度化された重要な支援であることが示されました。

はたして、私たちの家庭内において、安心して自分の気持ちを出すことが出来る雰囲気(環境)になっていますか？

もしかしたら、本人が意思決定しやすい環境整備が不足しているのでは？

保護者や家族への支援が不十分なことが「親による代行決定」を引きおこしていませんか？

具体的には、支援者側として、

意思を形成(持つ)ことの支援・・・したいこと、してほしいこと したくない事 してほしくない事の見極め。

意思を伝えること・・・聞くのではなく、問いかける

意思を受け止めること・・・返事ではなく、共有(共感)する

意思を実行すること・・・満足感を提供。意思をかたちに変わることの実感。

「意思決定支援」は、今始まったばかりの施策ですが、障がいを持つ人には“大切”な施策になるのでは。

▼平成29年 私たちの子どもの生活環境が大きく変わる可能性。

奈良市長 奈良市議会の選挙があります。奈良市政の向かう先は？

平成30年に総合支援法の見直しがあります。見直しの前に、振り返り(評価)をキッチリ行ってもらいたです。障がい者の生き方の課題解決に則した見直しを切望します。

▼『仲川市長のブログ(2017年5月27日の活動)』より。

「手をつなぐ親の会総会。障害をもつ我が子の為に昭和38年に設立されて以来、パイオニア的存在として活動されてきました。当時と最も違うのは当事者と親の高齢化。他の福祉施設からも同様の声が上がっていました。障がい者福祉と高齢者福祉の包括的な支援体制を探らねばと感じました」とメッセージがありました。

私たちは、「地域包括ケアシステム」には医療・介護・福祉の3点セットを望んでいます。

▼6月11日「ムジーク・プラッツ 2017in 春日野園地」に行ってきました。

「おとうさんといっしょ出張レオてつコンサート」。「ストレッチマンとのびのび体操」ゲスト奈良県立高等養護学校ダンス部。

ワンワン・せいやくん・なおちゃんシュッシュ・ポップテレビでおなじみの姿が春日野園地に集合。

子ども年齢 2~3才 お母さんの年齢 20~30才。我が子43歳 保護者68歳。

我が子が喜び、参加している姿に嬉しくもあり、悲しくもあり。

本来なら、我が子が子供をつれて、おじいちゃんとしての参加なのに・・・複雑な気持ち。

『文化のある処に福祉は育つ』奈良県の福祉これからの楽しみ。